

# つながい



TEL 0748-22-3030

FAX 0748-23-3383

編集:情報サービス委員会 広報課

発行日: 2013.5.31  
VOL.10

独立行政法人国立病院機構  
東近江総合医療センター



## 独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター誕生!

平成25年4月1日、独立行政法人国立病院機構滋賀病院は独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センターへと生まれ変わりました。地域医療再生計画どおり東近江圏域での中核病院としてのスタートです。この日を迎えることができましたことは、皆様方からのご支援ご協力の賜と感謝しております。

さて、中核病院の整備内容を少し説明させていただきます。新棟開設に合わせ大型医療機器の殆ど（リニアック、64列CT、1.5テスラMRI、RI、IVR-CT、X線テレビ装置、マンモグラフィ等）を更新し、新棟1階には放射線科と内視鏡センター（胃、小腸、大腸、カプセル内視鏡システム、気管支鏡等）を設置しました。2階には5室の手術室（クラス100、クラス1000+18℃、感染症対応含む）と、200名収容可能な大会議室（きらめきホール）を整備しています。3階から7階までは病棟部門で一般病床252床、完全個室対応の結核病床16室、結核モデル病床4室、重症個室17室、陰陽圧対応個室8室、有料個室41室から構成されています。また、4階には病児保育室（職員用）も設置しました。4月20日に「独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター設立記念式典」を開催し、新棟への移転はその1週間後に行いました。5月から病床数を100床増床し320床となり、ここからが本格的なスタートを切ったところです。

その後は、1年間をかけて外来部門の改修工事と外構整備が始まります。この内容は、外来各診療科の拡張・再配置、救急室の拡張、外来化学療法室の拡張（4床から8床へ）、総合医療研修のセンターを設置、最後に移転後の旧病棟を解体し駐車場整備等となりますが、診療をしながらの工事となり、引き続き患者さん並びに近隣住民の皆さんにご理解・ご協力をお願いすることになります。また、電子カルテの導入（秋頃）、遠隔病理・画像診断も開始します。同時に当院敷地内に休日急患診療所及び医師会等6団体が入居する東近江地域医療支援センターが整備され、7月から稼働予定となっています。